

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 岩下 啓史 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 空港アクセス鉄道と中間駅開発について	(1) なぜ、中間駅が必要なのか。ただ電車が離合するだけの施設で良いのではないのか。 (2) 中間駅の位置と中間駅構想における開発面積はいくらか。 (3) 中間駅の利用者は何名を見込んでいるのか。 (4) 中間駅開発における整備費用（プラットフォームやエレベーター）や駅の維持管理費は町の一般財源から支出するのか。町の持ち出しが数億円規模になるのではないのか。 (5) 電車のダイヤは、基本的には中間駅での離合が発生しないように組むことになると思うが、中間駅には、1 日何便止まるのか。 (6) 現在、運行されている空港ライナー（片道 15 分）はどうするのか。無料だから、残して欲しい方はたくさんいる。 (7) 中間駅から大津駅まで 10 分もかからないと思うが、どちらにおいても十分な経済波及効果（B/C）を見込んだ上での計画なのか。 (8) 中間駅近辺は、100ha 程度の農地がある。ここを再開発し、新たな市街地を誘導するとしても緩やかな人口減を迎える 20-30 年後、どうするのか。長期的なインフラ整備への負債を背負うのは町民である。 (9) 中間駅開発と肥後大津駅周辺のまちづくりどちらも進めるという計画であるが、どちらも十分な利用客が見込めずただのインフラ整備のためだけの投資になってしまわないのか。 (10) 本当に大津町民にとっての益となるようなまちづくり、身の丈にあった計画を策定すべきではないか。	町 長
2 地下水の枯渇と汚染の問題について	(1) 町内でのメガソーラー開発について 1 大津町町内でのメガソーラーの開発面積は合計でいくらか。それぞれの地点と経営会社も尋ねる。 2 メガソーラー開発において、地下水の涵養量への影響はどうか。 3 抑制区域の設定や事業者への協力要請を行なっているということだが、現状を問う	町 長

一般質問通告書

通告順番 9 番
通告者 岩下 啓史 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	(2) 熊本県知事の問題発言について 1 10 月 8 日に開催された九州半導体産業展での講演で熊本県知事は TSMC 進出による地下水の保全、交通渋滞などについての住民の懸念や声について『肥後引き倒し』『何とも言えない土着の宗教』と述べたが、町長はどうか。 (3) 町内での地下水保全対策について 1 前回 6 月議会での町長の答弁では、20 年先までの地下水位将来予測の必要性を県に意見を伝えるという答弁であったが、その後の進捗はどうか。 2 TSMC が進出を表明した 2021 年以降、町内に進出したもしくは進出予定の半導体関連企業による地下水の取水量はいくらか。また、これらの企業進出により失われる農地や山林面積はいくらか。 3 PFAS の規制のために、県の地下水保全条例の改正は必要ではないか。条例の改正は県の判断ではなく、町から要請することが地方自治の責任ではないか。 4 前回の答弁では、PFAS について、予防原則の立場にたった上で、科学的知見はなお確立途上にある、規制に足るほどの決定的な根拠がないとのことでしたが、予防原則の立場に立つならば明確に該当物質を規制するよう町から求める必要があるのではないか。	町 長
3 本町における子ども達への自衛隊教育の実態と名簿の提供について	(1) 各小学校における 2024 年に配布された子供用の防衛白書の取り扱いについて (2) 1 8 歳になる町民の名簿を自衛隊に提供している実態と近年の除外申請は何件あるのか。	町 長 教 育 長